

「みえライフイノベーション総合特区」MieLIP 鈴鹿関連研究会

第7回鈴鹿病態薬学研究会



開催日：平成 27 年 2 月 25 日

会 場：鈴鹿医療科学大学（白子キャンパス）

演 題：腸管免疫ネットワークの学術的解明と創薬・
ワクチン開発への展開

講 師：國澤 純 先生

独) 医薬基盤研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト
東京大学医科学研究所 炎症免疫学分野/国際粘膜ワクチン開発研究センター

呼吸器や腸管などの粘膜組織に存在する粘膜免疫システムには、病原微生物に対する生体防御だけでなく、腸内細菌や食物成分、環境因子などに対する過剰な免疫反応を抑え、恒常性を維持する役割があることが示唆されています。本講演で、國澤先生は腸内細菌や食用油を中心とした食物・栄養成分などの腸内環境因子を介する粘膜免疫制御機構についてご自身の研究成果を明快に解説して下さいました。さらに、これまでの研究成果を応用した効果的な粘膜ワクチン開発の現状、潰瘍性大腸炎や卵アレルギーの発症機構、さらに標的分子を制御調節する薬物の開発や免疫学的創薬への応用展開、有益な腸内細菌を利用した便移植法などの最新の知見を紹介して下さいました。

本学の教員や学生を含む 50 名を超える参加者からは、腸内細菌叢とパイエル板 M 細胞の相互作用の詳細や食用油によるマスト細胞の応答メカニズムに関する基礎医学的な質問のほか、粘膜ワクチンの開発や便移植の応用に関する臨床医学的な観点から活発な討論がなされ、充実した研究会となりました。

講演会場の風景（6103 号室）

